

交付対象事業の名称	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費 （円）	交付金充当額 （円）	事業実績	事業効果	所管
<p>工商等事業者事業継続支援事業</p>	<p>①観光宿泊・飲食等事業者の事業継続支援 ②観光宿泊・飲食等事業者・商工業者等の事業継続支援等に係る経費を交付対象経費とする。 ③ イ 観光宿泊・飲食等事業者に1回当たり10万円を上限に支援及びシマ博覧会出展者に対し1プログラム当たり2万円（上限10万円：5プログラム）を支援する。（支援回数は状況により判断） ○観光宿泊・飲食等事業者支援金 25事業者×100千円 ○シマ博覧会助成金 23プログラム×20千円 ○商工業事業者支援金 35事業者×100千円 ロ 地域づくりに資する作業や移動販売等を行う事業者に1日7,500円を上限とする日当や消耗品等の経費、事業継続のための費用を補助する ○臨時作業員日当 3人×20日×7,500円×11月 ○廃棄物処理料 17千円 ○材料費・消耗品・保険料・車両借り上げ料・燃料費・広告費等 4,778千円 ○税理士等への委託補助 55千円 ○移動販売用冷凍冷蔵庫購入2,600千円 ハ 宿泊体験キャンペーン助成15,000千円 （実施回数は状況により判断）</p>	31,447,117	31,040,000	<p>工商等事業者事業継続支援金 9,390,000円 事業継続支援臨時作業等助成金 6,994,292円 誘客促進補助金 12,754,318円 冷凍冷蔵庫 1台 その他負担金</p>		企画観光課
<p>地域商品券事業</p>	<p>①商店等地域経済の活性化及び住民の経済不安の解消を図るための支援（状況に応じて支援回数等は判断） ②住民1人当たり1万円の商品券支給、印刷費等を交付対象経費とする。 ③ イ 商品券1万円×1,450人×2回 印刷製本費等 500千円 ④住民1,450人</p>	27,906,567	27,878,000	<p>第1弾・第2弾地域商品券事業 実施 商品券利用額 27,430,500円</p>	<p>（記載例） 新型コロナウイルス感染症で落ち込んだ消費を活性化することにつながった。</p>	企画観光課
<p>緊急雇用事業</p>	<p>①- ②- ③ イ 各種作業へ延べ29人程度を雇用し、収入支援を実施する ロ（例）草刈作業 9,600円×5人×15日/月×3ヶ月 ハ 他詳細は積算根拠に記載 ④雇用を希望する者</p>	5,978,980	5,880,000	<p>雇用者 1名（総務課） 雇用者 2名（住民税務課） 雇用者 3名（保健福祉課） 雇用者 2名（建設課）</p>	<p>【保健福祉課】高齢者施設内等で、感染防止のための消毒作業や外周の草刈り作業等に雇用し、収入支援および施設職員の負担軽減につながった。</p>	<p>総務課 住民税務課 保健福祉課 建設課</p>

<p>島外就学学生等支援事業</p>	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響により、奄美大島外で生活し就学を続けていくことに不安を抱える学生の保護者に対し、必要な援助を行うことにより、学生等が就学をあきらめることがないよう支援する。 ②支援金に係る経費を交付対象経費とする。 ③1人当たり5万円×27人 ④島外就学学生等の保護者</p>	<p>1,350,000</p>	<p>1,350,000</p>	<p>補助件数 27名</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により収入が減少した大学生の保護者に対し支援金を交付する事で、保護者の負担軽減が図られた。</p>	<p>教育委員会事務局</p>
<p>感染予防等対策事業</p>	<p>①公共施設においての感染予防対策を実施するため、必要物品を整備する。また、災害時における感染症対策に対応した避難所運営を行うため、学校等を活用した分散化を図る必要がある。そのため、必要物品等を整備するとともに、停電が頻発する地域であることから、学校等への発電設備等を整備することにより、感染症対策に対応した避難所運営を実施する。また、高齢者の避難所利用者も多数いることから、間仕切りや簡易ベット等を整備し感染予防対策を行う。 ②感染予防対策及び避難所対策に係る物品購入に係る経費を交付対象経費とする。 ③ イ 感染予防対策費2,946千円 マスク 56円×10,000枚 布マスク 200円×3,000枚 防護服 5千円×40式 受付用アクリル板 100千円 赤外線サーモグラフィ 330千円×3機 他消耗品等 496千円 ロ 避難所対策3,985千円 避難所マット 1.55千円×400枚 簡易ベッド 11千円×20基 発電機 165千円×10基 大型扇風機 11千円×20台 他消耗品・備品等 1,275千円 ハ 他詳細は積算根拠に記載 ④ 約30施設（集落避難所（公民館等）・診療所・老人福祉施設・役場・学校施設等）</p>	<p>6,930,115</p>	<p>6,900,000</p>	<p>○感染症対策 感染予防対策用マスク・アルコール等消耗品購入 フェイスシールド 200個 非接触式体温計 38個 アルコールディスプレイ 11基 【設置箇所】 ○避難所対策 避難所対策用簡易ベッド ○基 ブランケット 300点 枕 300個 折りたたみマット 400枚 非常要発電機 10基 【設置箇所】</p>	<p>【保健福祉課】マスクや消毒液非接触体温計など感染対策物品を各施設・住民へ配布することにより感染予防に繋がった。</p>	<p>総務課 保健福祉課</p>
<p>医療提供体制整備事業</p>	<p>①村内唯一の医療機関である大和診療所において、発熱等の疑わしい患者の診療を屋外で実施するため、仮設テント、机、イスの整備を図る。また、在宅診療への対応を図るため、往診車両の整備を行い、院内での感染防止を図る。 ②仮設テント、簡易机、イス、軽自動車の購入等の経費を交付対象経費とする。 ③ イ 仮設テント 150千円 ロ 簡易机 3台 24千円 ハ イス 6脚 30千円 ニ 往診車 1,500千円 ④国民健康保険 大和診療所</p>	<p>1,690,062</p>	<p>1,690,000</p>	<p>往診車両 1台 テント 2台 イス 6脚 テーブル 2台 【設置箇所】</p>	<p>診療所屋外駐車場に、コロナ感染症外来等の専用スペースを仮設テントにおいて確保し、机、イスを専用で利用することによって院内及び、利用者の感染防止が実施できた。発熱等のコロナ感染症と疑わしき在宅患者の往診時に専用車両を利用することにより、医療従事者、診療所利用者の感染防止が実施できた。</p>	<p>大和診療所</p>

<p>救急搬送車両・資機材等整備事業</p>	<p>①新型コロナウイルス感染症に対応した救急搬送車両及び資機材の整備を行うことにより、救急隊員の感染予防対策等を図る。また、診療所や特別養護老人ホーム等を直営している本村では、高齢化率が高く（42.68%※R2.9.1現在）、通常の救急と車両を分けることで傷病者等の感染防止に努め、安心・安全の確保を図る。</p> <p>②救急車及び資機材に係る経費を交付対象経費とする。</p> <p>③高規格救急自動車：車両本体及び高度救命処置用資機材（傷病者室内装備電装・観察用資機材・呼吸循環用資機材・搬送用資機材・感染防止消毒用資機材など） 33,286千円</p> <p>④大島地区消防組合大和消防分駐所</p>	<p>33,286,000</p>	<p>33,200,000</p>	<p>高規格救急自動車 1台 【設置箇所】</p>	<p>狭所及び密閉空間である救急車内にて、新型コロナウイルスの感染を防止をするためにオゾン発生装置及び防護カバー付きストレッチャー等が積載された救急搬送車両を導入したことで、新型コロナウイルスに感染した患者を搬送する際にも救急隊員の安全を確保することができた。</p>	<p>大和消防分駐所</p>
<p>情報通信確保事業</p>	<p>①コロナの影響により減少した観光客の来訪を促進するために、安定的な情報通信の確保を図る。</p> <p>②情報通信鉄塔の改修に係る経費を交付対象経費とする。</p> <p>③情報通信鉄塔1基 16,048千円</p> <p>④情報通信事業者</p>	<p>16,047,900</p>	<p>16,047,000</p>	<p>情報通信鉄塔改修（名音地区） 1基</p>		<p>企画観光課</p>
<p>公共交通密接回避事業</p>	<p>①学生の通学時間帯の路線バスの大型化を実施すること等により、車両内での密接回避及び感染防止対策を図る。（バス大型化の日数は状況により判断）</p> <p>②バスの大型化に係る委託費及びバス購入費助成を交付対象経費とする。</p> <p>③ イ バス大型化18,900円×355日≒6,690千円 ロ バス購入助成 20,000千円</p> <p>④バス委託事業者</p>	<p>6,301,388</p>	<p>6,000,000</p>	<p>中型バス運行委託 6,301,388円</p>		<p>企画観光課</p>
<p>農業生産向上事業</p>	<p>①生産（草刈・薬剤防除）及び出荷（1次選果）現場において作業員間の接触を減らすとともに、省力化機械の導入を図ることにより、生産効率の向上を図る。</p> <p>②省力化機械の導入に係る経費を交付対象経費とする。</p> <p>③ イ 5連自動選果機 460千円 ロ 自動ブシ機 440千円 ハ 選別コンベアー 361千円 ニ 昇降機 473千円 ホ コンテナリフター 528千円 ヘ ドラム（10個） 247千円</p> <p>④大和村福元地区倉庫</p>	<p>2,387,000</p>	<p>2,350,000</p>	<p>自動選果機 1台 自動ブラシ機 1台 選別コンベアー 1台 昇降機 1台 コンテナリフター 1台 ドラム 10個</p>	<p>自動選果機の導入により、1次選果時における作業員間の密な接触を避けることができたとともに、省力化機械による労力の軽減が図られた。また作業工程の効率化により、農業者の生産意欲向上につながっている。</p>	<p>産業振興課</p>

<p>保育施設環境整備事業</p>	<p>①コロナ禍における、施設の換気対策を行うことで、心身ともに安心して過ごすことができる環境整備を図るとともに活動自粛の中において発達低下を防ぐことを図る。  ②保育施設整備等に係る経費を交付対象経費とする。  ③  イ 網戸設置 15,700円×20カ所=314千円  ロ 空調機修理 438千円  ハ 空調機備品購入 847千円  ニ 遊具設置・撤去 6,730千円  ④保育所等4施設</p>	<p>1,598,080</p>	<p>1,598,000</p>	<p>改修施設数 4箇所  【村内4保育所】</p>	<p>施設の換気対策を行うことで、感染予防に努めながら継続した保育運営を図り、心身の安定した活動につなげることができた。</p>	<p>保健福祉課</p>
<p>行き場づくり施設環境整備事業</p>	<p>①コロナ禍における利用者（障害のある方）の安全の確保を行うため、網戸の設置等を行い、換気等による施設内の感染防止に努める。  また、管理者等がオンライン等による意見交換やコロナ関連の情報収集・提供、医療機関や役場等との連携を図ることで、安心して利用できる環境を整えるため、パソコンを整備し利用者への支援を図る。  ②通信環境整備と網戸設置等に係る経費を交付対象経費とする。  ③  イ パソコン1台120千円  ロ 網戸設置216千円  ④旧戸円校</p>	<p>335,500</p>	<p>335,000</p>	<p>備品購入（パソコン）1台  網戸設置 1施設  【設置箇所】</p>	<p>網戸の設置等を行い、換気等による施設内の感染防止を図ることができた。パソコン設置によりオンライン等による意見交換等やコロナ関連の情報収集・提供、医療機関や役場等との連携を図ることができ、安心して利用できる環境を整え利用者への支援を図ることができた。</p>	<p>保健福祉課</p>
<p>健康促進事業</p>	<p>①コロナ禍の体力低下防止と終息後の健康促進を図り、1人でもできる健康づくりの構築を図る。  ②健康促進システムの開発、ご当地ソング制作、血圧計等の整備に係る経費を交付対象経費とする。  ③  イ ご当地ソング制作委託（作曲、振付、DVD制作等） 808千円、報償費240千円、需用費96千円  ロ 体組成体重計・血圧計 1,448千円  ニ 健康促進システム開発委託 4,565千円  旅費（費用弁償）468千円、報償費110千円  ④約13施設（集落避難所（公民館等）・役場・防災センター等）</p>	<p>7,938,036</p>	<p>7,924,000</p>	<p>キビキビ体操制作委託等 一式  アドバイザー費用弁償 一式  体重計 11台  体組成計 1台  自動血圧計 1台  【設置箇所】</p>	<p>ご当地ソングは村民参加型で製作し、各集落（健康教室）などで活用され体力低下防止をはじめコロナ後の地域活性化にもつながっている。  血圧計は各集落公民館等へ配置され日頃の体調管理に利用されることでコロナ禍においても介護予防につながっている。  健康促進システムは、蜜にならず個人でも健康づくり行動につながることから、コロナ禍においても感染対策をしながら活動を低下させない効果につながった。</p>	<p>保健福祉課</p>

<p>要介護者等支援事業</p>	<p>①コロナによる行動自粛等により、体力低下が生じやすくなる高齢者等がかなり顕著にみられている。このことは、閉じこもりという悪循環を招くため、狭い集落内でも送迎支援ができるために軽車両を整備する。また、診療所等の受診においては多くの住民を移送することを考え密な状態を避けながら対応できるマイクロバスを整備したい。狭い集落内への送迎支援ができることで、コロナ疑い者への適切な搬送にもつなげることが可能となる。また、コロナ渦により収入が減少している中、介護用品にかかる費用は変わらず、むしろ上記理由で家族の負担も増加している。この負担軽減を図り、コロナ渦においても適切な介護が継続できるように介護用品を支援する。さらにマスク着用により口の動きがみえなかったり、大声をだせないため聴覚障害者が大変苦慮している現状があるため、聴覚障害をサポートする機器を整備したい。AEDについては、コロナ陽性者に無症状者が多いということが判明している中、異変に気づきにくい危険性も高いことから、高齢者等の介護予防の場を安全に運営していくために整備し、要介護者等の支援を図る。</p> <p>②移動支援、障害者支援等に係る経費を交付対象経費とする。</p> <p>③</p> <p>イ 介護用オムツ等助成 1,034千円  ロ 軽自動車 1,949千円  ハ 聴覚障害者支援機器 1,283千円  ニ AED（老人福祉センター用） 308千円  ホ 身障者福祉器具（足こぎ車いす） 344千円  ヘ マイクロバス 9,988千円  ト 役務費 6千円</p>	<p>4,911,451</p>	<p>4,911,000</p>	<p>介護用品支給助成 81件  需要費 320,010円  役務費 5,796円  AED購入 1基  難視聴支援スピーカー 1台  移動支援車 1台  足こぎ車いす 1台  【設置箇所】</p>	<p>介護用品はコロナ禍による収入減による経済面をカバーし、衛生的で適切な介護支援につながった。</p> <p>車輛は、狭い集落内への送迎支援ができ、コロナ疑い者への適切な搬送に繋がった。また、ワクチン接種時の送迎支援ができた。</p> <p>聴覚支援機器は、コロナ禍でマスク着用の状態により口の動きがみえなかったり、アクリル板による聴き取りづらさに対するサポートにつながった。</p> <p>AEDは、急変しやすいコロナ症状に対し、備えとして高齢者等の集いの場に設置することで、要介護者等の活動の場の継続支援を図ることができた。</p> <p>足こぎ車椅子は、自力で移動できることから、人との接触による感染リスクを下げながらフレイル対策も図ることができた。</p>	<p>保健福祉課</p>
<p>学校ネットワーク機器整備事業</p>	<p>① 要介護者、障害者等支援センターの活用促進を図る。また、村内各小中学校で児童生徒及び教師が使用可能な環境設定を行う。</p> <p>② 村内各学校のハブ交換に係る経費、各学校の児童生徒用の購入タブレット端末及び児童生徒・教師用共有タブレット端末について使用可能な環境設定の経費。</p> <p>③</p> <p>イ 各学校ハブ23台等 1,551千円  ロ 村内各学校児童生徒用タブレット端末設定 61台 3,113千円  ハ 村内各学校児童生徒・教師用共有タブレット端末設定 15台 1,500千円  ニ タブレット購入及び設定（追加10台） 850千円</p> <p>④</p> <p>イ 村内各学校5校（ハブ交換）  ロ 村内各学校児童生徒及び各学校</p>	<p>7,623,000</p>	<p>7,564,000</p>	<p>対象学校数 5校  【設置箇所：全学校】</p>	<p>GIGAスクール用に設定を変更したことにとり、タブレット端末を使用した授業において不足なくオンライン学習ができる環境が整った。</p> <p>また、タブレット端末を使用して他校との交流することが出来た。</p>	<p>教育委員会事務局</p>

<p>コロナ対策家庭学習支援事業</p>	<p>①新型コロナウイルス感染症に伴い、学習に遅れないよう、教師の活用できるタブレット等の整備を図り、また、学校臨時休校が実施される際、インターネット環境が整備されていない家庭に必要機器等の貸出しを行い、家庭学習の環境整備を図る。 ②タブレット、モバイルルーターの整備に係る経費を交付対象経費とする。 ③ イ 貸出用タブレット 45千円×15台=675千円 ロ 児童生徒教師用共有タブレット45千円×15台=675千円 ハ モバイルルータ 22千円×10台=220千円 ④村内各学校児童生徒</p>	<p>1,564,200</p>	<p>1,564,000</p>	<p>タブレット購入 30台 モバイルルーター 一式 【設置箇所】</p>	<p>持ち帰り学習を安心して行える環境整備が図られ、感染状況に応じながら学習が継続できた。</p>	<p>教育委員会事務局</p>
<p>老人ホーム感染対策事業</p>	<p>①既存の建物の改修及び必要設備の整備を行い、発熱等のある入所者を隔離できる環境を整えとともに、園内での感染防止を図るため必要備品の整備を図る。 ②施設の改修や備品購入に係る経費を交付対象経費とする。 ③ イ 空調機 5台 3,000千円 ロ トイレ改修 800千円 ハ ベッド等医療機材 3,600千円 ニ 隔離施設備品購入（給湯器、内線電話等） 300千円 ホ 大型洗濯機購入 2,000千円 ④特別養護老人ホーム大和の園</p>	<p>8,997,770</p>	<p>8,990,000</p>	<p>需用費 746,900円 大型洗濯機 1台 空調機 5台 ベッド 5台 給湯器 1台 【設置箇所】</p>	<p>入居者に新型コロナウイルス感染者が確認された場合、別棟の建物に隔離出来るように整備できた。 また、居室の換気対策や、感染と非感染を区別して洗濯出来るよう整備できた。</p>	<p>大和の園</p>
<p>島内自治体連携コロナ対策事業</p>	<p>①奄美大島5市町村連携で、水際対策や共同メッセージの発出等を行い、感染予防対策を図る。 ②水際対策負担金、新聞広告・うちわ作成負担金等の経費を交付対象経費とする。 ③ イ 水際対策負担金 1,898千円 ロ 新聞広告・うちわ作成負担金 262千円 ④奄美大島新型コロナウイルス感染症対策本部事務局</p>	<p>2,309,643</p>	<p>2,200,000</p>	<p>奄美大島5市町村水際対策負担金 2,309,643円</p>	<p>奄美大島5市町村連携で、水際対策や共同メッセージの発出等を行い、感染予防対策を図ることができた。 名瀬港・奄美空港での水際対策、新聞広告・うちわ作成を行った。</p>	<p>総務課 保健福祉課</p>
<p>学校保健特別対策事業費補助金</p>	<p>（感染症のためのマスク等購入支援事業） （学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業） ①村内学校において、喚起対策や学校コロナ対策助成金によるコロナ対策に係る必要物品等を購入を行い、感染予防対策を図る。 ②感染症対策において必要な消耗品等の購入や網戸設置費、各学校助成金を交付対象経費とする。 ③ イ 学校保健特別対策事業補助金の地方負担分に充当 ロ 網戸設置費 2,500千円（500千円×5校） ハ コロナ対策助成金 2,500千円（500千円×5校） ニ 感染症対策において必要な消耗品等の購入等 27千円 ④村内小・中学校5校等</p>	<p>4,898,400</p>	<p>2,457,000</p>	<p>対象学校数 5校 【設置箇所：全学校】</p>	<p>各学校へ網戸設置やパーテーション等を整備した事により、学校内での集団的感染を防ぐ事が出来た。また、児童生徒へマスクを購入し配布したことで、マスク不足によりコロナ過の学校生活への不安を解消する事につながった。</p>	<p>教育委員会事務局</p>

<p>集落伝統行事自粛関連助成金</p>	<p>①本村に所在する11集落は集落民の字費の他、豊年祭等などの行事により集落内外の方々から、寄付を募り、集落の運営費としているが、今年は新型コロナウイルス感染防止のため、人の集まる地域行事が中止となり集落運営の財源となる寄付が募れない状況となっている。このため村内各集落に集落運営助成金を支給し、集落運営の支援を図る。 ②集落運営助成金に係る経費を交付対象経費とする。 ③ (300千円×10集落) + (100千円×1集落) = 3,100千円 ④村内11集落</p>	<p>3,100,000</p>	<p>3,100,000</p>	<p>補助件数 11集落 【大和村内全集落】</p>		<p>総務課</p>
<p>学校保健特別対策事業 (大和村継足分)</p>	<p>①学校保健特別対策事業の補助対象外分の継ぎ足し分として村内学校等においてコロナ感染症対策に係る必要物品等を購入等を行うとともに、子ども達がソーシャルディスタンスを確保しつつ、心身ともに安心して過ごすことができる環境整備を図る。 ②新型コロナウイルス感染症対策にかかる必要物品の購入等及び学校における屋外の施設整備に係る経費を交付対象経費とする。 ③ イ 各学校58千円を村内小中学校5校等 ≒ 291千円 ロ 滑り台付ジャングルジム設置工事 2,500千円 ④村内小・中学校 5校等</p>	<p>2,303,472</p>	<p>2,290,000</p>	<p>対象学校数 5校 【設置箇所：全学校】</p>	<p>感染症対策用の必要物品等の導入により安心して学校生活をおくることが出来る環境を整備したことで学校での感染リスクの低下が図られた。</p>	<p>教育委員会事務局</p>